

薩摩川内

広報 さいつませんたい

6

2025(令和7)年
vol.496

信賴の119
命を守る最前線



友だち
募集中



自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
ダウンロード
はこちら



令和7年4月1日から、本市、さつま町、阿久根市、長島町からの119番通報を一括受信する、北薩3消防本部指令センターを市消防局内に新設し、運用を開始しました。

今回は、1本の電話で命をつなぐ最前線の指令センターに潜入し、普段は見ることができない消防通信指令業務について紹介します。



消防業務の中核を担う

消防通信指令業務は、119番通報に回答し、火災や救急などの各種災害の受け付けを行い、災害内容に応じた消防隊や救急隊に出場指令や情報伝達を行うもので、消防業務の中核を担っています。

共同運用の背景

これまでは、市町村の消防本部がそれぞれ通信指令業務に必要な設備や施設で運用してきました。

近年は災害が複雑、多様化する中で、高度かつ迅速な災害対応が求められています。

大規模災害にも対応

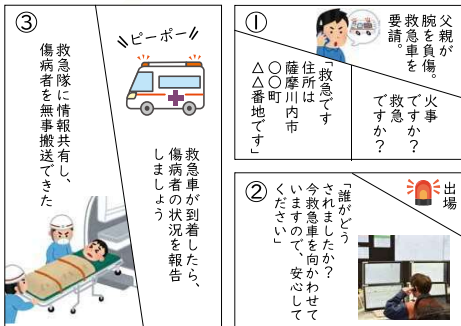
大規模災害時には近隣の市町村などと連携した広域的な対応が必要となります。

北薩地域の3消防本部が、消防車両や救急車両の出場状況、災害発生状況などの情報を一括で管理するようにしました。そのため、1つの消防本部では対応が困難となる大規模災害発生時に、北薩3消防本部で迅速な応援体制をとることが出来ます。

※薩摩川内市消防局、さつま町消防本部、阿久根地区消防組合



火事・救急は119番！



今回は救急の場合を紹介しましたが、火事の場合は、①住所 ②何が燃えているか ③人が逃げ遅れている人がいないか ④人を聞きます。

火事、救急どちらの場合でも、**必ず安全な場所**から通報してください。

北薩3消防本部指令センターの運用が開始したことに伴い、2市2町の地域から通報を受けるため、**まずは市町名を伝えてください。**

また、外国人の方が安心して通報ができるよう、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語の5カ国語に対応しているんだって！



多彩な通報手段

電話での通報だけではなく、常に最新の情報を共有し、迅速かつ正確な現場活動を支えるシステムがあります。

映像通報装置

スマートフォンからの119番通報時に、現場の状況を音声だけでなく映像も活用して通報が行えるシステムです。

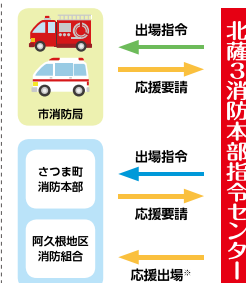
災害現場の状況を早期に把握し、傷病者への適切な処置を指導することが出来ます。

電話の通報を聞き取り、必要に応じて指令センターから映像通報の連絡先をお知らせします。通報に掛かる通信料は通報者負担となりますので、ご理解とご協力をお願いします。



これは心肺蘇生法のガイド動画（乳児、小児、成人用）があるのが指令センターから送信されたもので、この他にも、異物除去や止血、やけどなどの応急手当ガイドがあるよ。

共同運用体系図



※応援出場とは、1つの消防本部では対応しきれない大きな災害の場合に、他の地域から出場、活動すること。



Net119受信装置

聴覚障害や音声・言語機能障害で音声通報が困難な方のために、次のような通報手段があります。

「Net119緊急通報システム」を利用して、スマートフォンから通報でき、位置情報から通報場所の特定も可能です。使用には事前に消防局への申請が必要となりますので、ご注意ください。



消防局から皆さんへ

近年、とても便利になっているスマートフォン。スマートフォンなどには、機器が激しい衝撃を受けたとき、自動的に119番通報をするという機能が搭載されています。

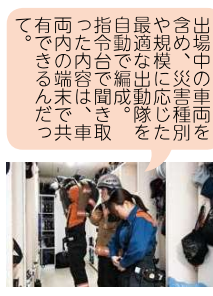
実際に誤発信で消防局にも通報されたこともあり、その際、発信があった携帯番号に安否確認のため、折り返しの電話をしますので、応答できる場合は必ず応答してください。

本日に命の危機が迫っている人のもとに、消防車や救急車を出場させるため、協力をお願いします。

通報から出場まで



③ 出場隊編成



⑤ 出場



心肺蘇生法とAED

心臓停止状態の傷病者を発見した場合、救急車の要請だけでなく、胸骨圧迫やAEDを使用した「一次救命処置」が重要です。応急処置方法を消防局ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



▲応急処置方法とAED

～定例普通救命講習のご案内～

消防局では、心肺蘇生法やAEDの使い方を学ぶことができる講習会を開催しています。大切な命を救うため参加してみませんか？

応急手当WEB講習による事前学習が必要となりますので、詳しくは消防局ホームページをご確認ください。



▲定例普通救命講習について

鹿児島大学サテライトラボを設置

4月22日(火)、サーキュラーパーク九州(株)内にサーキュラーエコノミー実証事業拠点(鹿児島大学サテライトラボ)が設置され、除幕式が行われました。

この拠点は、混合・複合プラスチック製品のケミカルリサイクルなどの実証事業が行われ、今後も企業や地域が抱える社会課題について研究が行われます。



蜂蜜が採れたよ

4月28日(月)、水引こども園で、蜂蜜搾り体験を行いました。

川薩養蜂組合をはじめ多くの関係者のもと行い、園児や保護者など約40人が参加し、女王蜂や働き蜂の役割、1匹から採れる蜂蜜の量などを教わりながら、遠心分離機を使って蜂蜜搾りを体験しました。搾りたての蜂蜜を味見した子どもたちは「甘くてとてもおいしい、また体験したい」と笑顔になっていました。



【情報提供：水引こども園】

子どもの読書推進活動が評価されました

5月2日(金)、おじやはんか入来かたいもんそ会が、令和7年度子供の読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰の受賞報告のために表敬訪問されました。

これは、広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めることを目的に実施されており、同会の方言を使用した活動や昔話を紙芝居にして実演するなどの活動が評価されました。



「まちの話題」に投稿ください。



まちの話題は、市民の皆さんからいただいた情報により、身近な話題を掲載しています。皆さんからのたくさんの投稿お待ちしております。



投稿方法

- ①タイトル(11文字程度) ②本文(140文字程度)
- ③投稿者名 ④連絡先 ⑤写真1枚〜3枚

を添えて、秘書広報課までメールで投稿ください。
メールアドレス／koho@city.satsumasendai.lg.jp

※内容やスペースの都合により掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

写真集を子どもたちへ

5月1日(木)、薩摩川内おどり太鼓から写真集の寄贈がありました。

この写真集は、イベントなどで活動している子どもたちがたくさん収められており、未来を担う多くの子どもたちに見てもらいたいと寄贈されたものです。各小中義務教育学校へ配付し、大切に活用します。



寺山でこどもの日を満喫

5月5日(月)、少年自然の家とせんだい宇宙館で寺山こどもの日フェスタを開催しました。

当日は多くの親子などが来場し、特別企画の大型エア遊具や肥薩おれんじ鉄道(ミニトレイン)、こいのぼり釣りゲームなどの体験活動を楽しみました。



平成14年に地域を守る本市の消防団に初めて女性団員が入団してから23年。令和7年4月、その発足から女性消防団に携わってきた団員の1人が、県内初の消防団長に就任しました。

今回は、これまで築いてきた女性消防団の活動や、これからの消防団への思いに寄り添います。

「人のとなりに」とは…
文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てることを目的としています。

宮里 英子さん
えいこ 宮里

薩摩川内市消防団 Instagram

入団当初、右も左も分からず、女性消防団員として何をすればいいのか、何ができるのか、仲間と集まる中で不安だらけだったといいます。

「入団した以上は、規律を正し、女性たちでできることを確立して、目標を持ってやりたかった。だから、女性消防団の知名度を上げるために地域のイベントには何でも参加した」と話します。他にも、他市町村の活動発表会に参加したり、研修を受けたりしたそうです。「他の団の活動発表を見たときは、その活動内容に衝撃を受けた。自分たちにも何かできることがあるはず」と女性だからこそできることを

試行錯誤の活動

「平成14年、女性の消防団員を募集するので入らないかと勧誘があった。当時消防に関する知識など全くなかったが、夫が消防団に所属しているため、消防団への理解は少しあった。不安よりも、自分ができるとは何かという前向きな気持ちがあった」と話すのは、令和7年4月に県内で初めて女性の消防団長に就任した宮里英子さん。女性の消防団員の採用を開始した当初、入団したのは7人だったと話します。

宮里さんは、消防団長に就任しましたが、その裏にはプレッシャーや悩みもあったそうです。「周りから、団長として頑張っ

重圧をやりがい

てほしいという声があった。その反面、女性の消防団長という前例がなかったので決断にとても悩んだ。でも、家族からの理解をもらい、私にできることを頑張ってみようと思い決めた」と話します。

本市消防団の消防団員は減少傾向にあり、高齢化も進んでいる。地域で火災が発生したり、行方不明者が出たりしたときに、その地域の特徴を一番知っているのは地域に住む消防団員。まずは、消防団の活動を知ってもらい、興味を持ってもらえるようにもっと情報発信を行っていきたい。また、若い人たちにも



「全国各地で異常気象による自然災害や、森林災害も増えているが、ニュースを見て俯瞰しない、自分事だと思ってしまう。物資だけでなく、心も備えることで災害に対して構えることができる。日頃からの情報収集や、自分なりのリラックス方法を知ること、定期的に非常用持出袋を確認するなどできることから始めてほしい。そのために、防災に関する豆知識や便利なアイテムなども伝えていきたい」と日頃の備えの大切さを教えてくれました。

「まず自分自身を守る」
防災に関する広報活動も行っている宮里さんは、いざというときには、「備え」が大切だと話します。

「全国各地で異常気象による自然災害や、森林災害も増えているが、ニュースを見て俯瞰しない、自分事だと思ってしまう。物資だけでなく、心も備えることで災害に対して構えることができる。日頃からの情報収集や、自分なりのリラックス方法を知ること、定期的に非常用持出袋を確認するなどできることから始めてほしい。そのために、防災に関する豆知識や便利なアイテムなども伝えていきたい」と日頃の備えの大切さを教えてくれました。

令和5年度決算に基づく
本市の財務書類を作成しました

総務省が示す「統一的な基準」に基づき本市の財務書類

この財務書類は、市が所有する財産、債務、コストなどの状況を把握し、今後の財政運営に役立てることを目的として作成しています。

用語解説

- ◆資産Ⅱ市が保有する建物や道路などの財産のこと
- ◆負債Ⅱ市が今後支払いを必要とするお金のこと
- ◆純資産Ⅱ資産から負債を除いた金額のこと
- ◆減価償却Ⅱ固定資産の経済的価値が時間の経過や使用によって減少していくことを「減価」といい、定められた耐用年数に応じ、費用を配分して計上する仕組みのこと

令和5年度決算
薩摩川内市の
連結財務書類

令和5年度末における連結後の資産総額は、基金などの投資その他の資産の増加などにより、前年度より2億円増の2481億円となっています。

また、将来負担しなければならぬ額（負債）は、地方債などの固定負債の減少および賞与等引当金などの流動負債の減少により、前年度より8億円減の691億円となっています。

一方で、福祉サービスやごみ収集などの資産を形成しない行政サービスの提供に費やした経費（経常経費）は、物価高騰により物件費などの業務費用の増加や、社会保障給付などの移転費用の増加により、前年度より22億円増の約920億円となっています。

①連結貸借対照表

借 方		貸 方	
資産の部		負債の部	
固定資産	2,253.8 億円	固定負債	624.4 億円
有形固定資産	2,136.5 億円	地方債	429.9 億円
事業用資産	1,127.6 億円	長期未払金	10.5 億円
インフラ資産	958.8 億円	退職手当引当金など	184.0 億円
物品	50.1 億円	流動負債	66.6 億円
無形固定資産	0.4 億円	1年以内償還予定地方債など	50.9 億円
投資その他の資産	116.9 億円	賞与等引当金	5.8 億円
基金	104.4 億円	未払費用など	9.9 億円
出資金など	12.5 億円	負債合計	691.0 億円
流動資産	227.2 億円	純資産の部	
現金預金	91.5 億円	固定資産等形成分	2,346.3 億円
基金（財政調整基金など）	92.5 億円	剰余金（不足分）	△ 556.3 億円
未収金など	43.2 億円	純資産合計	1,790.0 億円
資産合計	2,481.0 億円	負債・純資産合計	2,481.0 億円

③連結資金収支計算書（≒キャッシュフロー計算書）

期首資金残高	89.2 億円
業務活動収支（収入－支出）①	58.8 億円
支出（物件費、補助金など）	831.2 億円
収入（市税、国県等補助金など）	890.0 億円
投資活動収支（収入－支出）②	△ 48.1 億円
支出（公共施設等整備費支出など）	96.8 億円
収入（基金取崩など）	48.7 億円
財務活動収支（収入－支出）③	△ 10.2 億円
支出（地方債等償還など）	55.9 億円
収入（地方債等発行収入など）	45.7 億円
本年度資金収支額（①＋②＋③）	△ 0.5 億円
期末資金残高	89.7 億円

④連結純資産変動計算書

期首純資産残高（令和4年度末残高）	1,779.9 億円
純行政コスト（△）	△ 865.6 億円
財源（税収等、国県等補助金）	838.3 億円
本年度差額	△ 27.3 億円
無償所管換など	37.4 億円
本年度純資産増減額など	10.1 億円
期末純資産残高（令和5年度末残高）	1,790.0 億円

②連結行政コスト計算書（≒損益計算書）

経常行政コスト	
業務費用	351.7 億円
人件費（職員給与費など）	97.6 億円
物件費等（物件費、減価償却費など）	239.9 億円
その他の業務費用（支払利息など）	14.2 億円
移転費用	567.9 億円
補助金など	254.6 億円
社会保障給付	311.3 億円
その他（補償金など）	2.0 億円
経常費用（A）	919.6 億円
経常収益	
使用料・手数料	25.9 億円
その他（財産貸付収入など）	37.8 億円
経常収益（B）	63.7 億円
純経常行政コスト（A）－（B）	855.9 億円
臨時損失（災害復旧事業費など）	9.8 億円
臨時利益	0.1 億円
純行政コスト	865.6 億円

連結財務の内訳

薩摩川内市全体

一般会計等

- ・一般会計
- ・天辰第一地区土地区画整理事業特別会計
- ・天辰第二地区土地区画整理事業特別会計
- ・入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計

公営事業会計

- ・水道事業などの公営企業会計
- ・一般会計等に含まれるものを除く特別会計（国民健康保険事業特別会計など）
- ※公営企業会計の一部の会計は令和2年度決算から連結

一部事務組合

- ・鹿児島県市町村総合事務組合

広域連合

- ・鹿児島県後期高齢者医療広域連合

地方三公社

- ・薩摩川内市土地開発公社

第三セクター

- ・（公財）薩摩川内市民まちづくり公社
- ※出資比率が50%以上の団体・法人

主な財務書類には以下の4つの表があります

① 貸借対照表

年度末において、市がどれほどの資産を保有しているか、また、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを表したものです。資産と負債・純資産の左右の釣り合い（バランス）がとれている表であるため「バランスシート」とも呼ばれています。

③ 資金収支計算書（≒キャッシュフロー計算書）

当該年度における資金の流れを示していて、収支の性質に応じて、人件費や物件費など経常的な行政活動のための収支、学校や道路など、有形固定資産形成のための収支、地方債の償還などに係る収支の3つに区分し、どのような活動に資金が必要とされ、どのように賄われたかを表したものです。

② 行政コスト計算書（≒損益計算書）

当該年度における行政活動のうち、資産形成につながらない人件費や社会保障などの行政サービスに係る経費（経常費用）と、その行政サービスの直接の対価として得られた施設使用料などの財源（経常収益）を対比させたものです。民間での損益計算書に当たります。

④ 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部に計上されているものが、当該年度においてどのように変動したのかを示すものです。純資産とは、資産形成の財源として過去世代の負担や国・県の負担で将来返済する必要のないものをいいます。

市民
1人当たり
では？

連結貸借対照表	
資産 272.7 万円	負債 75.9 万円
	純資産 196.7 万円

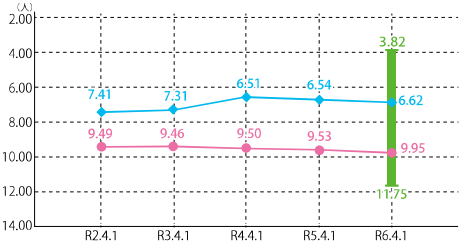
連結行政コスト計算書	
経常費用 101.1 万円	経 常 収 益 7.0 万円
	純経常行政コスト 94.1 万円

※令和6年3月31日現在人口：90,994人で算定
※端数調整により、数値が一致していない場合があります。

本庁財政課財政G内線4722
問合せ先

④ 定員管理の状況

人口1,000人当たり職員数 [9.95人]
類似団体内順位：103/108 全国平均：8.32 鹿児島県平均：9.21



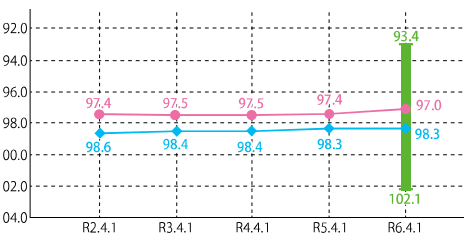
◎分析と対応

1,000人当たりの職員数は、定年延長制度が導入されたことや人口が減少傾向にあることもあり、前年度より0.42人増加しています。また、本市が島しょ部を含んでいることおよび面積が広大であることなどの地理的要因などがあることから、依然として類似団体平均値を3.33人上回っています。

今後においても、「定員管理計画」に基づき、総人件費の抑制を基調とした定員管理、年齢構成の平準化、持続可能な行政サービスの提供などにより、引き続き職員数の適正管理に取り組んでいきます。

⑤ 給与水準(国との比較)

ラスパイレス指数 [97.0]
類似団体内順位：27/108 全国市平均：98.6 全国町村平均：96.3



【ラスパイレス指数】

国家公務員の職員構成を基準として、職種ごとに学歴や経験年数別に平均給与月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したものです。

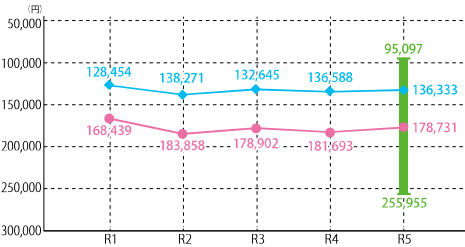
◎分析と対応

経験年数階層の変動のため、前年度より0.4ポイント減少しています。

今後においても給与制度などの適正な管理・運用を図っていきます。

⑥ 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [178,731円]
類似団体内順位：99/108 全国平均：158,103 鹿児島県平均：172,660



◎分析と対応

「定員管理計画」に基づき職員数の適正管理に努めてきたものの、島しょ部を含む地理的条件から、人件費や施設の維持管理費などに多くの経費を要し、類似団体内平均値を42,398円上回っています。

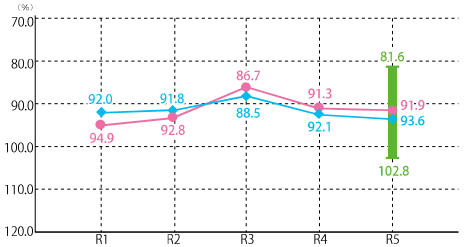
今後においても、「公有財産活用基本方針」などに基づきさらなるコスト削減を図っていきます。

※「人件費・物件費等」とは、人件費、物件費および維持補修費の合計です。ただし人件費には事業費支弁人件費(注)を含み、退職金は含みません。

(注)建設事業などに従事した職員の給与のこと

⑦ 財政構造の弾力性

経常収支比率 [91.9%]
類似団体内順位：31/108 全国平均：93.1 鹿児島県平均：90.7



【経常収支比率】

地方税など毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費のように毎年度経常的に支出される経費に充てられたものの占める割合を示すものです。

この数値が低いほど、臨時的な経費に充てられる財源に余裕があり、弾力的な財政運営が行えるといえます。

◎分析と対応

公債費が減となったものの、物件費や扶助費が増となり、経常経費が約5.2億円増加したため、前年度比0.6ポイント悪化していますが、類似団体内平均値を1.7ポイント下回っています。

今後においても、人件費、物件費、維持補修費などの縮減に加え、「公有財産活用方針」に基づいた施設の統廃合、管理経費の縮減に努め、経常経費の削減に努めます。

令和5年度普通会計決算

市町村財政比較分析表

市町村財政比較分析表は、類似団体(※)との比較分析が容易にできるように、7つの財政指標について、類似団体内平均値を100としたときの本市の指数を表しています。

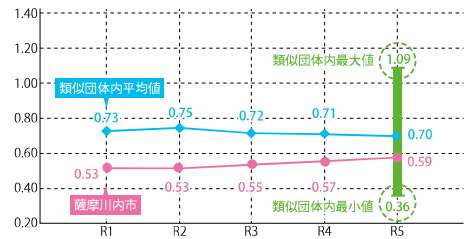
なお、県内・全国の市町村の状況は、県や総務省のホームページにも掲載されますので、ご参照ください。

※国は全国の市町村を、人口規模や産業構造などで35のグループに分けています。類似団体とは、その中で同じグループに属する自治体のことをいいます。

人口(R6.1.1現在)	91,542人	実質赤字比率	—%
面積(R6.1.1現在)	682.92km ²	連結実質赤字比率	—%
歳入総額	62,802,001千円	実質公債費比率	7.3%
歳出総額	59,424,853千円	将来負担比率	—%
実質収支	2,833,623千円	市町村類型(年度ごと)	R1：Ⅱ-2、R2：Ⅱ-2、R3：Ⅱ-3、R4：Ⅱ-3、R5：Ⅱ-3
標準財政規模	29,324,812千円		
地方債現在高	34,464,374千円		

① 財政力

財政力指数 [0.59]
類似団体内順位：82/108 全国平均：0.48 鹿児島県平均：0.28



【財政力指数】

地方自治体の財政力を示す指数で、標準的な行政活動を行うために必要な経費に対する、標準的に収入し得ると考えられる税収の割合を示すものです。

この指数が高いほど、財源に余裕があるといえます。

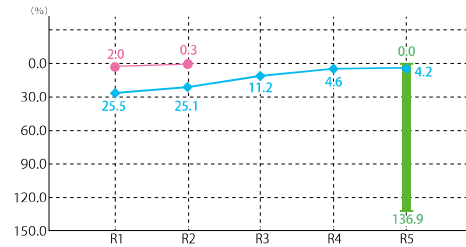
◎分析と対応

市民税(所得割分、法人税割分)および地方消費税交付金が増となり、基準財政収入額が増したことにより前年度比で0.02ポイント改善していますが、公債費算入などの基準財政需要額が大きいため、類似団体内平均値を下回っています。

今後においても市税などについてさらなる収納率の向上に取り組むなど、自主財源の確保に努めます。

② 将来負担の状況

将来負担比率 [—%]
類似団体内順位：1/108 全国平均：6.3 鹿児島県平均：0.0



【将来負担比率】

市債など、将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を、毎年度経常的に収入される財源に対する比率で指標化したものです。

この比率が高いほど、将来的に財政を圧迫する可能性が高いといえます。

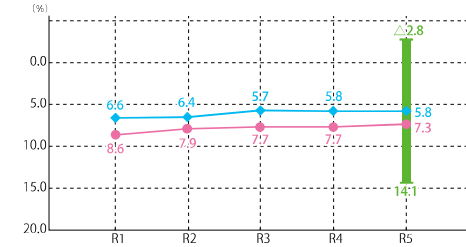
◎分析と対応

既発債の償還終了に伴う地方債現在高の減、充当可能基金現在高の増により、充当可能財源などが将来負担額を上回ったため、将来負担比率は「—」となっています。

今後においても、後世への負担を少しでも軽減するよう、普通建設事業の選択などをしながら、引き続き健全で安定的な財政運営を推進します。

③ 公債費負担の状況

実質公債費比率 [7.3%]
類似団体内順位：77/108 全国平均：5.6 鹿児島県平均：7.1



【実質公債費比率】

毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費(地方債の元利償還などに要する経費)や、公債費に準ずるもの(公営企業に対する繰出金など)を含めた実質的な公債費相当額に充てられたものの占める割合を示すものです。

この比率が一定の数値を超えると、地方債の発行が制限されます。

◎分析と対応

交付税算入率が高い有利な市債の活用にも努めており、前年度から公債費は約2.7億円減少したものの、類似団体内平均値を1.5ポイント上回っています。

今後においても起債抑制の方針は堅持しつつ、普通建設事業の選択などをしながら、公債費の抑制を図っていきます。

本市では、本市所在の事業所で働く人材を確保することを目的に、さまざまな支援を行っています。このコーナーでは、その支援について、「【暮らし】」【移住】の3回にわたって紹介します。

今回は、「暮らし」編として、移住定住に役立つ助成・支援の一部を紹介いたします。

子育て加算で
最大
150万円
補助金
定住住宅取得補助金

本市に転入後3年以内に、住宅を新築または購入した方に最大150万円を補助します。

※補助額は地域によって異なりますので、詳しくは市ホームページをご確認ください。



▲定住住宅取得補助金

子育て加算で
最大
100万円
補助金
定住住宅リフォーム補助金

本市に転入後1年以内に、住宅をリフォームした方に工事費の50%を補助します。

※補助額は地域によって異なりますので、詳しくは市ホームページをご確認ください。



▲定住住宅リフォーム補助金



利用者の声

以前は東京で働いていましたが、将来的には地元である薩摩川内市に帰ることを考えていました。移住に関する情報収集をしていたら、市のホームページで住宅取得補助金があることを知り、市の移住定住センターに問い合わせました。

この補助金が移住の大きなきっかけになりましたし、補助金の申請時は窓口のサポートもあり、とてもありがたかったです。現在も、仕事で東京を行き来することはありますが、都会とは違った生活を送ることができています。



最大
50万円
補助金
地域移住促進補助金

地域に増えている空き家を活用して、移住者向けの賃貸住宅に改修する活動を支援します。



▲改修を行った空き家

対象工事

空き家の改築またはリフォーム、家財道具の処分など50万円以上掛かる工事費用などの経費の2分の1を補助します。(最大50万円)



▲地域移住促進補助金

利用者の声

「せっかくなら誰かに住んでもらいたい」という思いから、空き家の改修を決意した補助金利用者にお話を聞いてみました。

改修した空き家は、約100年前に建てられた武家屋敷の特徴を残した建物で、その歴史とこれまでの家族との思い出が詰まっていた物件でした。リフォームを行う際に、建設会社などから、この支援制度を紹介してもらいました。支援制度を利用したことで、金銭的な負担が軽くなり助かりました。改修後は、空き家バンクに登録しています。薩摩川内市に住みたいと思っていただけのような物件になるように、これからは少しずつ清掃や改修を続けていきます。



▲移住定住に役立つ・支援一覽

市ホームページでは、その他さまざまな移住定住に関する支援制度や情報を発信しています。ぜひご覧ください。



▲広報薩摩川内5月通常版

7月は国民年金保険料免除・納付猶予申請の更新月です

国民年金保険料を未納のままにしていると年金額に反映されただけでなく、支給資格期間にも算入されません。老齢年金やいざという時の障害年金、遺族年金を受給できなくなってしまう場合もあります。そのようなことにならないよう、経済的な理由により保険料を納めることが難しい場合は「免除・納付猶予」制度を利用しましょう。

国民年金の加入対象者は、20歳以上60歳未満の農業者、自営業者、学生、無職の方などです。

※年金を受け取るために必要な加入期間

国民年金の保険料を納めることが難しい場合に知ってほしい4つの制度

①「申請免除」制度

収入の減少や失業などにより、保険料を納めることが経済的に難しい場合、保険料の全額または一部を免除

③「学生納付特例」制度

20歳以上の学生で前年所得が基準以下の場合、在学期間中の保険料の納付を猶予

②「納付猶予」制度

50歳未満の方(学生以外)で保険料を納めることが経済的に難しい場合、保険料の納付を猶予

④「産前産後免除」制度

出産予定日または出産日が属する月の前月から4カ月間の保険料を免除
※免除された期間は保険料を納付したものととして、老齢基礎年金受給額に反映

？ 甌島の魅力は何ですか？



静岡県生まれの私は、子どもの頃に家族で甌島に移住しました。それまで内陸で暮らしていた私にとって、海はとても魅力的な存在でした。海岸を歩き回るのが楽しくて、漂着した貝殻や生物を見つけて、調べていました。幼い私にとって海は遊び場でもあり、学びの場でした。



甌島国定公園10周年

こしきのひととき

vol.2

？ 齊藤さんにとってエコツアーガイドとは

私は地域の神社で神職としても奉職しています。神職は「神執行持」とも呼ばれ、神様と人との仲を執り持つ役ですが、エコツアーガイドも自然や地域と旅行者をつなぐ仕事です。

ただ美しい景色を見るだけではなく、専門的な知識を持ったガイドによる解説を聞いていただけたら、もっと深く甌島を感じる事ができると思います。

？ 甌島ならではの体験を

甌島の魅力を知り尽くしたスベシヤリストが、隠れた絶景スポットや心温まる地域の物語、そして「サステナブルな暮らし」の知恵を余すところなくご案内します。

自然と共生するエコツーリズムの魅力を存分に味わい、甌島ならではの感動体験をぜひお楽しみください。甌島エコツーリズムの詳細は、ホームページをご確認ください。

※環境や社会、経済などのあらゆる分野において、将来にわたって持続可能な状態を保つこと



▲甌島エコツーリズムホームページ

問合せ先

▼本庁観光物産課観光シティーセールズG(内線6221)



▲個人の方の電子申請(国民年金)



▲国民年金保険料の免除・猶予・追納

問合せ・申請先

▼本庁保険年金課国民年金G(内線2821)または各支所
甌島振興局
▼川内年金事務所
☎(2)52776

生涯学習
「まちづくり出前講座」を
活用してみませんか

「まちづくり出前講座」とは？

申込方法は？

市職員が、市民の皆さんのもとへ伺い、それぞれの担当分野(業務)における行政情報などについて、必要に応じて意見交換などを行ないながら、説明します。
※受講は無料です。なお別途必要な材料などは、事前に用意していただく必要があります。
対象は？

代表者は、原則として開催予定日の10日前までに希望する講座を選び、講座実施申請書に必要事項を明記の上、申込先へ直接またはメールで提出してください。
※講座実施申請書は、市ホームページまたは市民活動センターに備え付けています。
※開催日程などが希望に沿えない場合があります。ご了承ください。

市内に居住、通勤または通学している方で構成された、おおむね10人以上の団体・グループなど
※出前講座は生涯学習の一環として開催するため、陳情や特定の企業の利益につながるものとは実施できません。

日時や会場の手配などは？

講座の開催は、平日、休日を問わず、9時から21時までの間で、2時間以内とします。
会場の確保、参加者への周知などは、実施される団体などで全て手配してください。
※開催場所は市内に限ります。



▲市ホームページ

問合先／市民活動センター
(三ツフラゼんだい内)
☎(25) 62110

NO.	講座名	講座概要	担当課・申込先	分類
1	薩摩川内市総合計画について	市政の総合的な経営指針である総合計画をもとに、協働と参画により進めていくこれからのまちづくりについて説明します。	企画政策課 政策G (内線 4831、4833)	コミュニティ
2	これからの時代を生きる みんなのことを考える	SDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すための国際目標です。一緒に学習しながら、持続可能で魅力あるまちづくりについて説明します。	企画政策課 SDGs・開発G (内線 4821)	
3	地域コミュニティ、自治会、 NPOなどの共生・協働の 仕組み講座	地域コミュニティ、自治会、NPOなど共生・協働の仕組みについて説明します。	コミュニティ課 コミュニティG (内線 4612、4613) 市民活動センター ☎(25)6210	
4	生涯学習出前講座	市生涯学習推進計画にもとづき、生涯学習の概要、推進について説明します。	コミュニティ課 生涯学習・ひとみらい政策G (内線 4741、4742) 市民活動センター ☎(25)6210	コミュニティ・都市経営
5	ジェンダー平等について 知ってみよう	地域や学校、働く場などでのジェンダー平等や多様性について分かりやすく説明します。身近なところにあるジェンダーギャップや無意識の思い込みなど、基礎的な知識や市の取り組みなどを紹介します。	コミュニティ課 生涯学習・ひとみらい政策G (内線 4741、4742)	
6	薩摩川内市の台所事情	本市の財政状況について、令和7年度当初予算を中心に説明します。	財政課 財政G(内線 4731)	
7	令和7年度国勢調査の 説明を行い、その場でインターネット回答の補助をします。(～10/8まで)	令和7年に実施される国勢調査について、インターネットでの回答方法の説明を行い、その場でインターネット回答の補助をします。(～10/8まで)	行政経営課 行政改革・文書統計G (内線 6122)	行政改革・O・X
8	自治会名簿などを作成・ 利用する際のポイント	自治会や同窓会、PTA、NPO法人、サークルなどの団体で、組織の運営や会員間の交流などのために名簿を作成、利用する際の個人情報の取り扱いで気を付ける点を説明します。	行政経営課 行政改革・文書統計G (内線 6122)	
9	知っておきたい市政情報 ～情報公開制度～	市が保有する公文書の開示請求に関する手続きのほか、情報公開条例の概要や運用状況について説明します。	行政経営課 行政改革・文書統計G (内線 6122)	
10	原子力防災について	原子力防災や放射線・原子力発電に関する基礎知識について説明します。	防災安全課 防災安全G (内線 4910) 原子力安全室 原子力安全G (内線 4632)	防災・消防
11	地域ぐるみの自主防災組織 結成講座	自治会または地区コミュニティ協議会単位で結成する自主防災組織に関して組織の必要性や防災活動の進め方、災害時の応急活動の進め方などについて説明します。	防災安全課 防災安全G (内線 4910)	
12	一般防災について	大雨、台風、地震への備えや、日頃からの非常持出品の準備、防災マップの見方などについて説明します。	防災安全課 防災安全G (内線 4910)	
13	ごみ分別や各種補助金に ついて	家庭ごみの分別方法や各種補助制度などについて説明します。	環境課 廃棄物政策G (内線 4341)	市民安全・消防
14	カーボンニュートラルセミナー	2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ薩摩川内」の実現のため、地球温暖化の現状と課題、家庭でできる二酸化炭素排出量削減に向けた取り組みについて説明します。	環境課 生活環境G (内線 4311)	
15	住民税のしくみ	所得税、市県民税の概要や制度について説明します。	税務課 市民税G(内線 2231)	
16	固定資産税のしくみ	固定資産税(土地、家屋、償却資産)の概要や制度について説明します。	税務課 土地G(内線 2241) 家屋G(内線 2251)	消防・防災
17	住宅の防火・防災対策に ついて	過去に発生した火災事例などをもとに、家庭での火災を防ぐポイントや住宅防火対策について説明します。	消防局予防課 予防調査係・危険物係 ☎(22)0135	

NO.	講座名	講座概要	担当課・申込先	分類
18	避難行動要支援者に対する地域での支援体制づくりについて	自主避難が困難な方(避難行動要支援者)に対する地域(自治会など)での支援体制づくりの重要性について説明します。また、意見交換をしながら地域の実情に応じた取り組み方法などを提案します。	社会福祉課 企画総務G (内線 2721)	福祉
19	知っていますか？ ヤングケアラーって	本市での実態調査結果を踏まえて、ヤングケアラーとはどのようなものなのか、またどのように関わっていけばよいかについて一緒に考えます。	社会福祉課 相談G (内線 2734、2731)	
20	知っていますか？ 成年後見人制度	成年後見人制度と権利擁護センターの役割などについて説明します。	社会福祉課 相談G (内線 2741)	
21	知っておきたい？消費生活	消費生活の基礎知識を学び、高齢者を狙った詐欺・悪質商法の手口、若年者に多いトラブルなど、最近のトラブル事例と対処法や消費生活センターの役割について説明します。	社会福祉課 相談G (内線 2675)	
22	生活困窮者自立支援制度について	平成27年度から始まった生活困窮者自立支援制度について、本市の実状や取り組み状況を踏まえて制度内容を説明します。	高齢・介護福祉課 包括支援G (内線 2623)	
23	認知症サポーター養成講座	認知症に対する基礎知識や認知症の人の接し方などについて学び、認知症に対する正しい知識と理解によって、地域で認知症の人に対して支援員となる認知症サポーターを養成します。	高齢・介護福祉課 介護指導G (内線 2623)	保健
24	介護保険制度について	介護保険制度概要やサービスなどについて説明します。	子育て支援課 保育G (内線 2361)	
25	地域で子育て	ファミリー・サポート・センター(地域子育て援助活動)について説明します。	すこやかふれあいプラザ ☎(22)8811	福祉
26	健康な体づくりについて	大切にしたい体の仕組みを学び、健康な体づくりを一緒に考えます。	保険年金課 国保G(内線 2841) 高齢者医療G(内線 2832)	
27	医療保険制度について	国民健康保険および後期高齢者医療制度について、保険制度や医療制度の概要、医療費の適正化、高額医療、健康診査などについて説明します。	保険年金課 国民年金G (内線 2811)	産業・水産
28	国民年金の手続きについて	国民年金に関する届出種類と手続き方法について、資格取得届や種別変更届、免除申請、納付相談、死亡に伴う届け出(未支給年金申請、死亡届、死亡一時金)、氏名住所変更などを説明します。	農業政策課 企画総務・六次化G (内線 4212)	
29	そうだったのか！ 「農林漁業の六次産業化」講座	農林漁業者が自らの生産物に新たな付加価値を生み出し、販売まで取り行う「第1次産業×第2次産業×第3次産業」について、実際に開発された商品などを交えながら紹介します。	農業政策課 農政G (内線 4222)	
30	イノシシなどの鳥獣被害対策について	イノシシ、シカ、小動物などによる農作物被害の防止対策として、鳥獣の生態や特性を知り、自分でできる対策から地域ぐるみで取り組む対策まで、講話と映像を交えて説明します。	経済政策課 企画総務・施設交通G (内線 5746)	産業・水産
31	みんなのまちの公共交通について	バス、鉄道、船などの利用方法や、本市の地域公共交通などについて紹介します。	産業戦略課 産業G (内線 5761)	
32	次世代エネルギーセミナー	本市の次世代エネルギーを活用したまちづくりについて説明します。	文化スポーツ課 文化G (内線 6321)	文化・スポーツ
33	踊ってみた！ はんや節とはんや踊り	古くから川内地域を中心に伝わり、唄われてきたはんや節と、それに振り付けて踊られるはんや踊りやその歴史も含めて楽しく学びます。	道路河川課 建設管理G (内線 3321、3322)	
34	隈之城川などの 特定都市河川の指定について	令和6年11月に指定された隈之城川を含む6河川の「特定都市河川」についての概要や制度について説明します。	都市整備課 都市計画・景観G (内線 3422)	建設・水道
35	暮らしやすいまちであるために	今後の人口減少や少子高齢化などの社会情勢下において、誰にとっても暮らしやすいまちであるための都市のあり方や市の方針などを説明します。	建築住宅課 建築指導G (内線 3642)	
36	木造住宅の耐震診断・改修講座	昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断と耐震改修工事の必要性や補助制度の概要について説明します。	建築住宅課 空き家政策G (内線 3636)	
37	空家バンク制度について	所有している空き家の情報を、本市に定住を検討している方や、地域活性化に寄与しようとする方に対し、情報提供する方法や登録方法などについて説明します。	下水道室 下水道G ☎(20)8503	水道
38	空き家対策について	少子高齢化や過疎化により増加した空き家の管理や解体補助金(危険廃屋等解体促進事業補助金)について、市の方針などを説明します。	社会教育課 社会教育G ☎(22)7251	
39	「うるおいのまち薩摩川内」 下水道講座	生活排水を適正に処理する下水道の役割や仕組み、下水道の接続方法、工事費用、受益者負担金、下水道使用料、接続補助金、無利子貸付制度、合併処理浄化槽の補助金などについて説明します。	社会教育課 社会教育G ☎(22)7251	教育
40	公民館事業～ みじかな公共施設～	公民館施設の紹介や公民館事業として取り組んでいる市民大学、自主学級などの学習内容や利用方法などについて説明します。	社会教育課 文化財G ☎(22)7251	
41	家庭教育事業講座	教育の原点である家庭教育の質的向上を図るため、学習の進め方などについて説明します。	選挙管理委員会事務局 選挙G (内線 1411)	その他
42	青少年の健全育成講座	青少年を取り巻く環境や青少年の健全育成を図っていく上での方策、心構えについて説明します。	選挙管理委員会事務局 選挙G (内線 1411)	
43	わたしたちの郷土文化財を知る講座	各地域において守り伝えられてきた市民共有の貴重な「地域の宝」である文化財などについて、一緒に学習しながら紹介します。		
44	選挙の仕組み	選挙の歴史や選挙クイズ、模擬投票を通して、選挙の仕組みについて説明します。		